



地震の前に、空が光ったり地鳴りがすることがあるの

空が光ることがあった

今までに起こった、地震の前ぶれについて調べてみると、地震が起こる前に、「おかしな光を見た」、という報告がたくさんあります。いなずまのようなものや、山の中にかぶ火の玉のような光が、現れることがあります。これを発光現象といっています。

発光現象は、1923年の関東大地震（関東大震災）のときに、見られたといわれています。1965年から1966年にかけて起こった、長野県の松代群発地震（地震がひんぱんに起こる）では、発光現象のようすが、カラー写真にとられています。また、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の直前にも、空が光っていたのを見た、と報告している人がいます。

地鳴りを感じた人がある

地震の前ぶれとして、地鳴りを聞いた、という人はかなりいます。

関東大地震の10日ぐらい前に、海からドーン、ドーンという海鳴りのような、音が聞こえていたそうです。

また、1978年、宮城県沖地震が起こる前に、自転車に乗っていた人が、いきなりドーンと、後ろから追突されたような、感じがしたことや、外で子どもと遊んでいた人が、風もないのにとつぜん、サァーッという感じで、あたりの空気がざわめいた、という報告があります。（監修・国司 真）

